

安全・安心

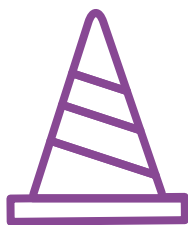
第10部

第1章 交通事故・火災・救急

- 182 救急出場状況
- 184 火災の発生状況
- 185 交通事故の発生状況

第2章 犯罪・少年非行

- 186 刑法犯の認知件数と検挙率
- 187 ストーカー、配偶者からの暴力事案等の認知件数
- 188 少年非行と少年の福祉を害する犯罪の現状





救急出場状況

救急出場件数は前年比2.5%増の71,170件

平成29年の救急出場件数は、前年に比べ1,708件(2.5%)増加し、71,170件となりました。

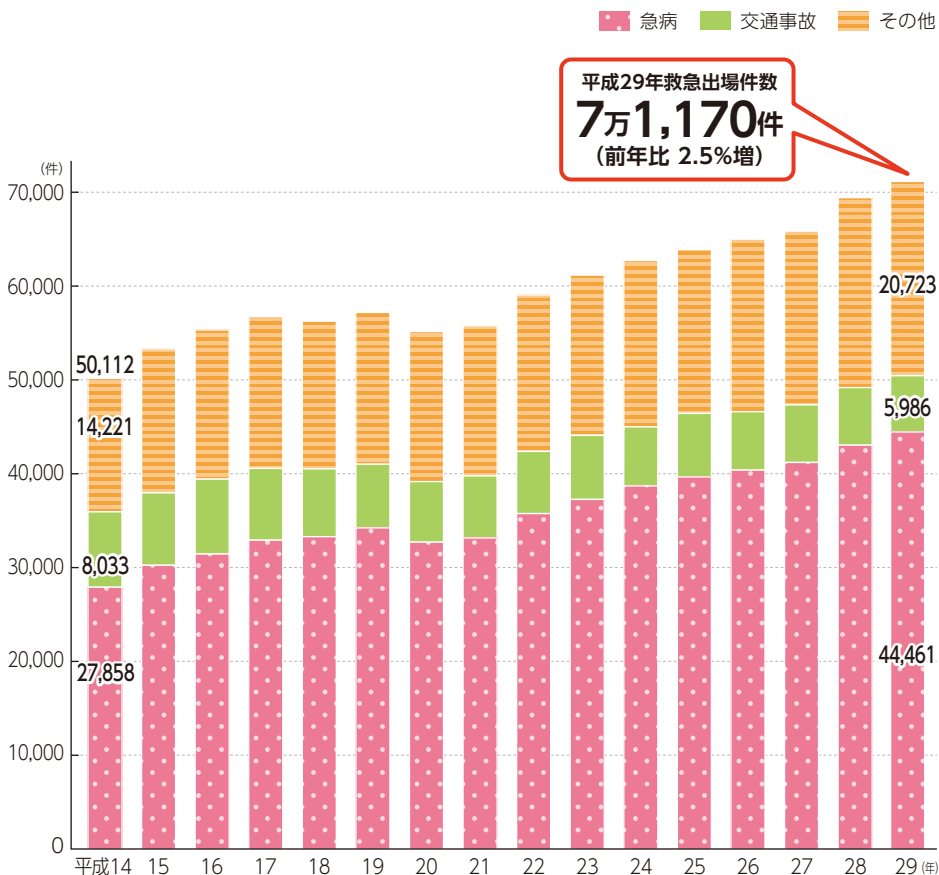
平成29年の救急出場件数を事故種別に見ると、前年と比べて急病が1,380件増加し44,461件、交通事故が152件減少し5,986件となりました。

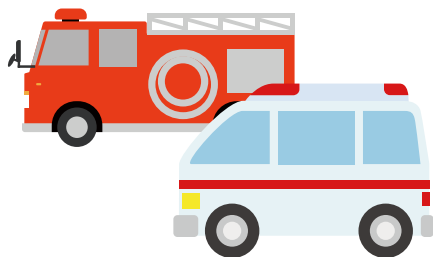
急病が全体の62.5%を占めています。

救急出場件数を平成14年の50,112件と比べると、21,058件(42.0%)増加しています。

救急出場件数の推移

資料:県消防救急課「消防年報」



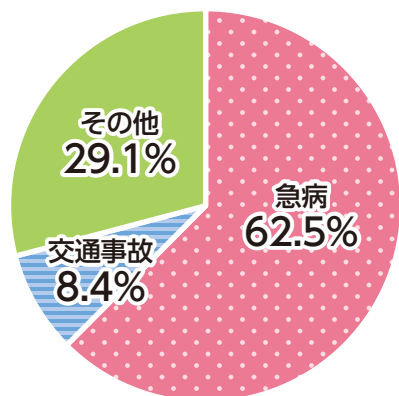
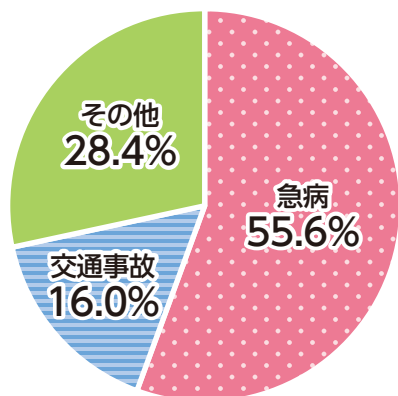


平成14年・29年の救急出場件数割合

資料:県消防救急課「消防年報」

平成14年の救急出場件数割合

平成29年の救急出場件数割合





火災の発生状況

火災出火件数、死傷者数、損害額ともに前年より増加

平成29年の出火件数は449件、火災による死傷者数は82人、損害額は15億4,615万円となりました。

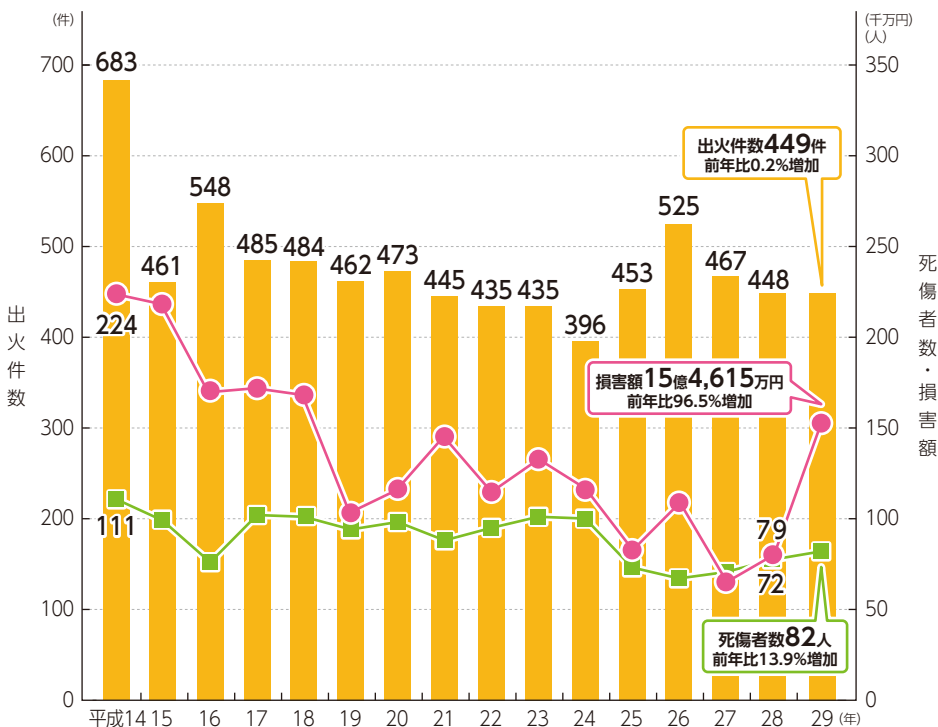
平成29年の火災発生状況は、前年に比べ、出火件数は1件(0.2%)増加の449件、死傷者数は10人(13.9%)増加の82人、損害額は7億5,928万円(96.5%)増加の15億4,615万円となりました。

また、平成14年と比べると、出火件数は683件から234件(34.3%)の減少、死傷者数は111人から29人(26.1%)の減少、損害額は22億4,101万円から6億9,487万円(31.0%)の減少となっています。

火災発生状況の推移

資料:県消防救急課「消防年報」

■ 出火件数 ■ 死傷者数(右目盛) ● 損害額(右目盛)





交通事故の発生状況

交通事故(人身事故)の発生件数、負傷者数は減少、死者数は増加

平成30年の交通事故(人身事故)は、発生件数4,016件、負傷者数5,013人、死者数45人でした。

前年に比べ、発生件数は444件(10.0%)の減少、負傷者数は665人(11.7%)の減少、死者数は5人(12.5%)の増加となっています。

また、平成20年と比べると、発生件数は2,820件(41.3%)の減少、負傷者数は3,788人(43.0%)の減少、死者数は3人(6.3%)の減少となっています。

なお、高齢者(65才以上)の死者数は、平成30年は23人で平成20年の24人より1人減少していますが、全死者数に占める割合は51.1%で平成20年の50.0%より1.1ポイント上昇しています。

交通事故(人身事故)発生状況の推移

資料:県警察本部交通企画課「交通年鑑」

